

下川町／企業研修プログラムの紹介





NPO法人 森の生活 代表理事
麻生 翼（あそう つばさ）

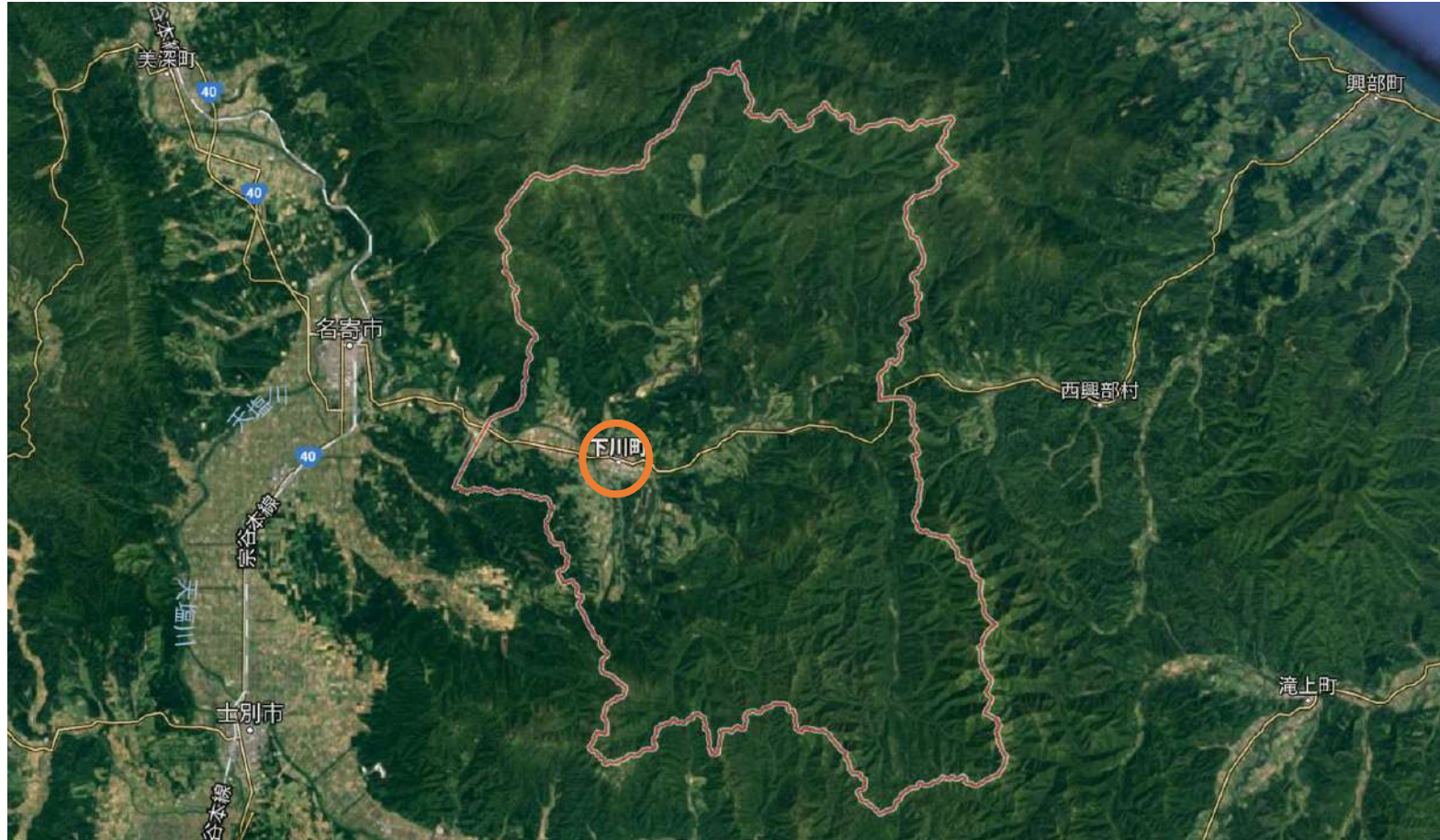
愛知県名古屋市生まれ
北海道大学森林科学科卒
タキイ種苗
北海道根室フットパスでのキャンプ場運営

2010年 下川町へ移住
2013年 NPO法人森の生活 代表理事
2017年 下川町総合計画審議会SDGs未来都市部会 部会長
2018年 下川町地域共育ビジョン策定委員会 委員長
2021年 下川フォレストファミリー株式会社取締役

大切な問い：
自然と共生した持続可能で楽しい町をいかにしてつくるか

好きなこと

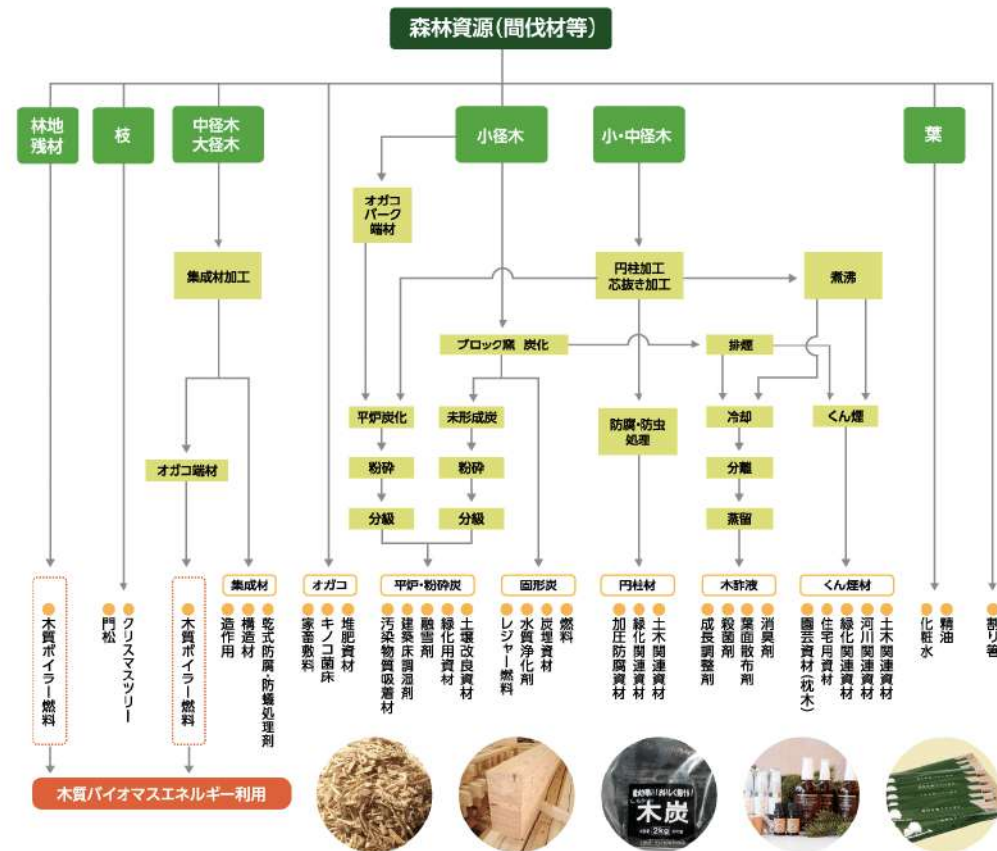
- 自然の中から食べ物をとってきてみんなで食べること

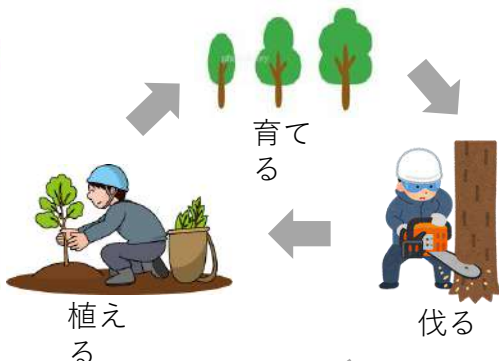




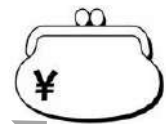
1950年代～ 循環型の森づくり 1980年代～ ゼロエミッションの木材加工

木材流通量 年間 約10万m³
林産業総生産額 約25億円 (8社9工場)





下川の町づくり



灯油代を貯金できる
灯油の使用量が減る



石油由来の二酸化炭素の排出量が減る



地球温暖化防止



第1回ジャパンSDGsアワード総理大臣賞受賞



☆持続可能な開発目標（SDGs）推進本部（本部長：内閣総理大臣）が、SDGsの達成に向けて、優れた取組を行う企業・団体等を表彰する制度で平成29年度は第1回目の開催

☆企業・団体から282件の応募、12団体が表彰



SDGs推進本部長（内閣総理大臣）賞

北海道下川町

SDGs推進副本部長（内閣官房長官）賞

- ・ NPO法人しんせい
- ・ パルシステム生活協同連合会
- ・ 金沢工業大学

SDGs推進副本部長（外務大臣）賞

- ・ サラヤ株式会社
- ・ 住友化学株式会社

SDGsパートナーシップ賞（特別賞）

- ・ 吉本興業株式会社
- ・ 株式会社伊藤園
- ・ 江東区立八名川小学校
- ・ 国立大学法人岡山大学
- ・ 公益財団法人ジョイセフ
- ・ 福岡県北九州市



下川町 環境未来都市推進課 SDGs推進戦略室資料 抜粋

NPO法人 森の生活の活動

ミッション：森を活かし、心豊かなくらしと持続可能な地域づくりに貢献する。



幼少中高15年一貫の森林環境教育



住民主体の森「美桑が丘の森」コーディネート



企業研修・修学旅行



有効活用されていない広葉樹木材の活用











事例1 森を活かした企業研修（半日）

目的：下川町の「伐っては植える」循環型森林経営について理解を深める。

人数：3名

時分	所用時間	内容
13:00	20分	〔森の生活事務所（美桑が丘）〕 あいさつ。溪和森林公園へ移動。
13:20	70分	〔溪和森林公園〕 ・ 森の記憶力ゲーム 森の素材を記憶し探すことで生態系について学ぶ。人工林と天然林の違いについて話題をつなげ、体感する。 ・ 木材の価格はいくら？（間伐体験付き） 価格の予測。森林の役割について尋ね、1人ずつ回答。間伐をし、実寸する。 ・ 「一番高いもの探し」 森の中から、一番高く売れるものを探す。誰に、どんな風に、いくらで売るか、考え、共有する。
14:30	30分	見本林へ移動し、間伐遅れの森林を観察。
15:00	30分	〔展望台〕 下川の町有林を俯瞰し、様々な林齢の森林の違いに気づく。
15:30	30分	〔市街地へ移動〕 市街地へ移動し、気づいたことを共有。解散。



事例2 森を活かした企業研修（1日）

目的：森林資源を活かした持続可能なまちづくりと、暮らしと森林のつながりについて理解を深める。

人数：16名

時分	所用時間	内容
10:00	20分	〔フレペ〕 あいさつ、ガイダンス。体験の森へ移動。
10:20	120分	〔五味温泉体験の森〕 ・スノーシューでの森林散策 天然林と人工林の森を歩き比べる。下川町の循環型森林経営について解説 ・五味温泉木質バイオマスボイラー見学
12:20	60分	〔市街地〕昼食（下川手延べうどん）
13:20	60分	〔二の橋木材倉庫〕 森の生活の、有効活用されていない下川産広葉樹材を活用する「顔の見える木材流通事業」について見学。
14:20	30分	〔コモレビ〕下川おやつ&木工作品紹介
14:50	120分	〔木工芸センター〕 木工房見学&木工体験。木工作家さんのパルプ材を活用したものづくり、バターナイフ作り体験
16:50	30分	1日のふりかえり。解散



みなみやHPより



クラフト蓄HPより

事例3 森を活かした企業研修（4泊5日）

目的：森林ボランティアを通じて地域に貢献を実践し、地方創生への理解を深める。

人数：44名

	日程	午前	午後	夕方～夜
導入	1日目	—	座学 ・下川町の取り組み ・地域の課題 等	人事研修
森林ボランティア	2日目	ゼロエミッションの木材加工視察 ・森林組合北町工場 ・下川FF(株) ・木質原料供給施設、木質バイオマスボイラー	枝打ち@町有林	人事研修
	3日目	枝打ち@町有林	枝打ち@町有林	人事研修
	4日目	ササ刈り@美桑が丘	ササ刈り@美桑が丘	人事研修 地域での若手起業家との交流会 焚き火
振り返り	5日目	人事研修・解散	—	—



※人事研修は組織開発・人材育成の専門家と連携して実施。

事例4 課題探求型修学旅行（1日）

目的：下川町のSDGsのまちづくりについて、「森林・林業・エネルギー自給」および「女性の活躍」の観点から、理解を深める。

人数：44名

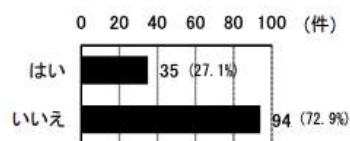
時分	所用時間	内容
10:00	90分	[森林組合北町工場] ゼロエミッションの木材加工見学
11:30	60分	[ランチ] 地元で起業した惣菜屋さんの、地元素材を使った弁当
12:30	90分	[一の橋バイオビレッジ] ・木質原料供給施設 ・木質バイオマスボイラー ・熱供給先のしいたけ栽培施設と住居
14:00	90分	[住民との対話] 地元で地域づくりの活動する方々の活動プレゼンと対話。
15:30		終了



道内179市町村への健康・教育・観光分野での森林の利活用アンケート調査(2013年実施)から...

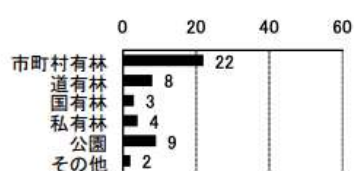
<健康分野>

■森林の利活用に取り組んでいますか？



(N=129)

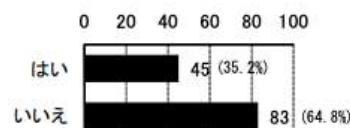
■利活用が行われている場所



※複数の内容を記入頂いた場合はそれぞれに分けてカウントしています。

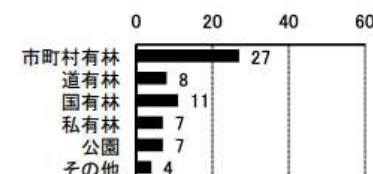
<観光分野>

■森林の利活用に取り組んでいますか？



(N=128)

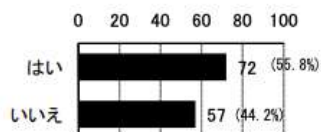
■利活用が行われている場所



※複数の内容を記入頂いた場合はそれぞれに分けて記載しています。

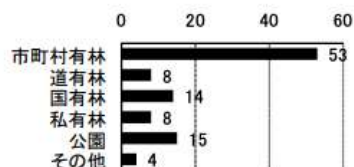
<教育分野>

■森林の利活用に取り組んでいますか？



(N=129)

■利活用が行われている場所



※複数の内容を記入頂いた場合はそれぞれに分けてカウントしています。

健康・観光分野での利活用は少ない。
利活用している場所はどの分野でも
市町村有林がトップ。

参考：『北海道 森で元気になる！白書 -健康・教育・観光分野における森林の利活用調査報告書-』（NPO法人森の生活） <https://morinoseikatsu.org/news/newsinformation/1443/>

項目別に検討ポイントを整理する(案)



支援策

- 財政的な支援は？
Ex.森林環境譲与税
- 人的な支援は？

森林ワーケーションに期待する効果を整理する (案)

複数の関係者による多岐にわたる効果を可視化するために、期待する効果を系として整理する。

